

学校教育田におけるスマート農業技術の導入・実践支援事業

1. 令和3年度事業費 629千円

2. 成果・効果

スマート農業技術を活用した最先端の農業生産を児童に体験してもらうことで、本市の基幹産業である農業(稲作)の最新の姿を伝え、将来の選択肢の1つとして「農業」が位置づけられることが期待できる。

数値的な指標	R1	R2	R3(初年度)
取組小学校数	—	—	6

【現況・傾向など】

令和3年度から本市においてもGIGAスクールが本格的に開始され、スマート農業技術に必要なインターネット環境の整備が進んできた。

スマート農業技術を活用することで、田植えや稲刈りのみならず水管理なども児童が中心となることが可能となり、実際の農業生産に近いプロセスを1年かけて継続的に体験することで農業に対する認識が明確化するなどの成果が見られた。

3. 今後の方針

学校教育田事業に取り組む市内小学校に意向調査を行い、導入の意向があった小学校について実施していく。